

## 地域活性化のためのバイオマス利用技術の開発

【1,414（1,450）百万円】

### 対策のポイント

国産バイオ燃料の利用促進を図るために、食料と競合しないバイオエタノールの生産コストを大幅に削減する技術を開発します。

### 政策目標

国産バイオエタノールの生産コストを半分以下に削減（100円/Lを目指す）

### <内容>

#### 1. 低コスト・高効率なバイオ燃料生産技術の開発

食料と競合しないバイオエタノールの生産コストの大幅な削減にむけて、遺伝子組換え微生物等を利用して、稲わら等作物の非食用部や木質バイオマスから高効率にエタノールを生産する技術等を開発します。

また、安価なバイオエタノール等原料の調達を可能とする収集技術、作物育成・栽培技術等を開発します。

#### 2. バイオマスマテリアル製造技術の開発

林地残材等の未利用資源の利用拡大を図るため、生分解性トレイや木質プラスチック等、石油化学製品に代替するバイオマス製品の製造技術等を開発します。

#### 3. バイオマス利用モデルの構築・実証・評価

バイオマスの燃料利用とマテリアル利用を総合的に行うバイオマス利用モデルの構築等を行います。

### <実施主体等>

実施主体 民間団体等

実施期間 平成19年度～平成23年度

[担当課：農林水産技術会議事務局研究開発官（環境）（03-3502-0536（直））]